

## 愛媛県松山・松前地区工業用水道事業の紹介

### ○事業の主旨

松山・松前地区工業用水道事業は、松山市及び松前町の臨海工業地帯に立地する主要な化学工業の生産活動を支えるため、仁淀川水系面河ダムを水源に工業用水の給水を行っています。

計画給水量は、日量106,000 m<sup>3</sup>で、昭和34年度から国庫補助事業として建設に着手し、昭和39年度に完成しました。給水開始の翌年（昭和40年度）から、40数年間にわたって、計画給水量全量が、事業者に給水され利用されています。

### ○事業の経緯

松山市を中心とする道後平野は、瀬戸内海の寡雨地帯にあり、古くからかんがい用水が不足しており、当初、恒久的な用水対策として、道前平野に中山川ダム、道後平野に石手川ダムをそれぞれ開発してかんがい用水を確保する計画が立てられました。しかし、昭和27年度に、これら二つの計画は、仁淀川水系への面河ダムの建設を柱とする「道前道後水利総合開発事業」へと統合発展されました。

この「道前道後水利総合開発事業」は、農業用水、発電用水、松山市工業用水及び松前町工業用水の4つの利水を目的としていましたが、工業用水道を松山市と松前町の別々の事業体で実施すると費用対効果が低下するとの意見等もあり、県営で実施する方針を決定し、工業用水道は、「県営松山・松前地区工業用水道事業」として、建設が進められることとなりました。

### ○ユーザーの概要

(H20. 12. 1現在)

給水先業種	契約先	契約給水量 (m <sup>3</sup> /日)
化学工業	2	106,000
計	2	106,000

### ○施設の概要

面河ダムに貯留した流水を中山川に建設した調整池まで導水し、道後北部幹線水路（道後平野に分水する農業用水と共同で整備）を経て、松山市畑寺町に設置した浄水場へ導水します。この浄水場で沈殿処理したのち、延長約15kmの配水管により、松山市及び松前町の工業地帯に工業用水を供給しています。なお、水源から末端ユーザーまで、ポンプ等を利用しない、高低差を利用した自然流下によって給水を行っています。

### ○事業の特徴

標高の高い面河ダムから導水していることから、水質が比較的良好であり、夏季でも水温が低く冷却水として利用し易い特徴があります。

また、面河ダムは、農林水産省が所管するダムであり、ダム及び道前道後第二発電所までの導水施設は、農業用水、発電事業、工業用水の3者共同施設、中山川から浄水場までの導水施設は農業用水、工業用水の2者共同施設、浄水場から受水企業までは、工業用水専用施設と、それぞれ持分が異なるとともに、1社当たりの契約給水量が多い特徴があります。

### ○愛媛県公営企業管理局のホームページアドレス

<http://www.pref.ehime.jp/140koueikigyou/010kigyousoumu/00007656060225/index.htm>

